

No.28 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	716	515	201	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2	2	—	0%	0%	—
V 精神及び行動の障害	655	486	169	91%	94%	84%
VI 神経系の疾患	48	21	27	7%	4%	13%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	8	5	3	1%	1%	1%
X 呼吸器系の疾患	1	—	1	0%	—	0%
X I 消化器系の疾患	1	—	1	0%	—	0%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	1	—	0%	0%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	—	—	—	—	—	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	7	5	2	1%	1%	1%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.28 の患者総数は 716 名であり、そのうち入院患者は 515 名、外来患者は 201 名であった。No.28 では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 655 名(91%)であった。そのうち、入院患者は 486 名(94%)、外来患者が 169 名(84%)であった。具体的には統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者が多く、患者総数が 399 名(56%)、入院患者が 330 名(64%)、外来患者が 69 名(34%)であった。その他には、血管性及び詳細不明の認知症、気分[感情]障害(躁うつ病を含む)の患者も多かった。

次に患者数が多いのは神経系の疾患であり、患者総数は 48 名(7%)であった。そのうち、入院患者は 21 名(4%)、外来患者が 27 名(13%)であった。具体的にはアルツハイマー病の患者が多く、患者総数が 26 名(4%)、入院患者が 11 名(2%)、外来患者が 15 名(7%)であった。その他には、てんかんの患者も多かった。

No.29 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	136	39	97	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	1	1	—	1%	3%	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1	1	—	1%	3%	—
V 精神及び行動の障害	32	3	29	24%	8%	30%
VI 神経系の疾患	52	21	31	38%	54%	32%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	6	3	3	4%	8%	3%
X 呼吸器系の疾患	1	—	1	1%	—	1%
X I 消化器系の疾患	21	—	21	15%	—	22%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1	—	1	1%	—	1%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	16	7	9	12%	18%	9%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5	3	2	4%	8%	2%
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	6	3	3	4%	8%	3%
V 周産期	16	7	9	12%	18%	9%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.29 病院の患者総数は 136 名であり、そのうち入院患者は 39 名、外来患者は 97 名であった。No.29 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは神経系の疾患であり、患者総数は 52 名(38%)であった。そのうち、入院患者は 21 名(54%)、外来患者が 31 名(32%)であった。具体的には脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群の患者が多く、患者総数が 36 名(26%)、入院患者が 12 名(31%)、外来患者が 24 名(25%)であった。その他には、その他の神経系の疾患の患者も多かった。

次に患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 32 名(24%)であった。そのうち、入院患者は 3 名(8%)、外来患者が 29 名(30%)であった。具体的にはその他の精神及び行動の障害の患者が多く、外来患者が 17 名(18%)であった。その他には、精神遅滞の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは消化器系の疾患であり、外来患者が 21 名(22%)であった。具体的にはう蝕の患者が多く、外来患者が 9 名(9%)であった。その他には、歯肉炎及び歯周疾患、その他の歯及び歯の支持組織の障害の患者も多かった。

No.30 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	200	33	167	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	14	1	13	7%	3%	8%
II 新生物	12	3	9	6%	9%	5%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	4	1	3	2%	3%	2%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	22	3	19	11%	9%	11%
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	3	1	2	2%	3%	1%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	38	1	37	19%	3%	22%
X 呼吸器系の疾患	49	9	40	25%	27%	24%
X I 消化器系の疾患	15	6	9	8%	18%	5%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	3	2	1	2%	6%	1%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	5	—	5	3%	—	3%
X IV 尿路性器系の疾患	15	2	13	8%	6%	8%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	8	3	5	4%	9%	3%
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	4	1	3	2%	3%	2%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6	—	6	3%	—	4%
X X 保健サービスの利用	2	—	2	1%	—	1%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	6	2	4	3%	6%	2%
II 糖尿病	2	—	2	1%	—	1%
III 虚血性心疾患	2	—	2	1%	—	1%
IV 脳血管疾患	3	—	3	2%	—	2%
V 周産期	8	3	5	4%	9%	3%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.30 病院の患者総数は 200 名であり、そのうち入院患者は 33 名、外来患者は 167 名であった。No.30 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは呼吸器系の疾患であり、患者総数は 49 名(25%)であった。そのうち、入院患者は 9 名(27%)、外来患者が 40 名(24%)であった。具体的には急性気管支炎の患者が多く、外来患者が 19 名(11%)であった。その他には、急性咽頭炎及び急性扁桃炎、喘息の患者も多かった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 38 名(19%)であった。そのうち、入院患者は 1 名(3%)、外来患者が 37 名(22%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が 27 名(16%)であった。

三番目に患者数が多いのは内分泌、栄養及び代謝疾患であり、患者総数は 22 名(11%)であった。そのうち、入院患者は 3 名(9%)、外来患者が 19 名(11%)であった。具体的には高脂血症の患者が多く、外来患者が 10 名(6%)であった。

No.31 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	221	64	157	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	1	—	1	0%	—	1%
II 新生物	8	4	4	4%	6%	3%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	5	3	2	2%	5%	1%
V 精神及び行動の障害	2	1	1	1%	2%	1%
VI 神経系の疾患	3	2	1	1%	3%	1%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	72	13	59	33%	20%	38%
X 呼吸器系の疾患	17	12	5	8%	19%	3%
X I 消化器系の疾患	63	17	46	29%	27%	29%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	6	2	4	3%	3%	3%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	20	—	20	9%	—	13%
X IV 尿路性器系の疾患	5	4	1	2%	6%	1%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	7	2	5	3%	3%	3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8	4	4	4%	6%	3%
X X 保健サービスの利用	4	—	4	2%	—	3%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	8	4	4	4%	6%	3%
II 糖尿病	4	2	2	2%	3%	1%
III 虚血性心疾患	5	—	5	2%	—	3%
IV 脳血管疾患	17	8	9	8%	13%	6%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.31 病院の患者総数は 221 名であり、そのうち入院患者は 64 名、外来患者は 157 名であった。No.31 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 72 名(33%)であった。そのうち、入院患者は 13 名(20%)、外来患者が 59 名(38%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、患者総数が 38 名(17%)、入院患者が 1 名(2%)、外来患者が 37 名(24%)であった。その他には、脳梗塞の患者も多かった。

次に患者数が多いのは消化器系の疾患であり、患者総数は 63 名(29%)であった。そのうち、入院患者は 17 名(27%)、外来患者が 46 名(29%)であった。具体的にはその他の歯及び歯の支持組織の障害の患者が多く、外来患者が 21 名(13%)であった。その他には、歯肉炎及び歯周疾患の患者も多かった。

No.32 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	1,661	614	1,047	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	54	13	41	3%	2%	4%
II 新生物	501	246	255	30%	40%	24%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	6	1	5	0%	0%	0%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	73	16	57	4%	3%	5%
V 精神及び行動の障害	46	—	46	3%	—	4%
VI 神経系の疾患	50	17	33	3%	3%	3%
VII 眼及び付属器の疾患	30	8	22	2%	1%	2%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	19	1	18	1%	0%	2%
IX 循環器系の疾患	238	111	127	14%	18%	12%
X 呼吸器系の疾患	106	30	76	6%	5%	7%
X I 消化器系の疾患	96	34	62	6%	6%	6%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	46	7	39	3%	1%	4%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	69	8	61	4%	1%	6%
X IV 尿路性器系の疾患	95	18	77	6%	3%	7%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	24	16	8	1%	3%	1%
X VI 周産期に発生した病態	21	13	8	1%	2%	1%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	17	11	6	1%	2%	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	37	7	30	2%	1%	3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	97	47	50	6%	8%	5%
X X 保健サービスの利用	36	10	26	2%	2%	2%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	393	226	167	24%	37%	16%
II 糖尿病	53	15	38	3%	2%	4%
III 虚血性心疾患	48	25	23	3%	4%	2%
IV 脳血管疾患	92	45	47	6%	7%	4%
V 周産期	62	40	22	4%	7%	2%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.32 病院の患者総数は 1,661 名であり、そのうち入院患者は 614 名、外来患者は 1,047 名であった。No.32 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 501 名(30%)であった。そのうち、入院患者は 246 名(40%)、外来患者が 255 名(24%)であった。具体的にはその他の新生物の患者が多く、患者総数が 92 名(6%)、入院患者が 15 名(2%)、外来患者が 77 名(7%)であった。その他には、胃の悪性新生物、気管、気管支及び肺の悪性新生物の患者も多かった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 238 名(14%)であった。そのうち、入院患者は 111 名(18%)、外来患者が 127 名(12%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 46 名(3%)、入院患者が 22 名(4%)、外来患者が 24 名(2%)であった。その他には、狭心症の患者も多かった。

No.33 病院（村山地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	319	287	32	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	—	—	—	—	—	—
V 精神及び行動の障害	281	253	28	88%	88%	88%
VI 神経系の疾患	33	31	2	10%	11%	6%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	2	1	1	1%	0%	3%
X 呼吸器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X I 消化器系の疾患	1	—	1	0%	—	3%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2	2	—	1%	1%	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	2	1	1	1%	0%	3%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.33 病院の患者総数は 319 名であり、そのうち入院患者は 287 名、外来患者は 32 名であった。No.33 病院では患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 281 名(88%)であった。そのうち、入院患者は 253 名(88%)、外来患者が 28 名(88%)であった。具体的には統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者が多く、患者総数が 193 名(61%)、入院患者が 183 名(64%)、外来患者が 10 名(31%)であった。その他には、血管性及び詳細不明の認知症、気分[感情]障害(躁うつ病を含む)の患者も多かった。

次に患者数が多いのは神経系の疾患であり、患者総数は 33 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 31 名(11%)、外来患者が 2 名(6%)であった。具体的にはアルツハイマー病の患者が多く、入院患者が 27 名(9%)であった。

No.34 病院（最上地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	254	204	50	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	—	—	—	—	—	—
V 精神及び行動の障害	218	184	34	86%	90%	68%
VI 神経系の疾患	20	11	9	8%	5%	18%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	9	7	2	4%	3%	4%
X 呼吸器系の疾患	2	—	2	1%	—	4%
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	3	—	3	1%	—	6%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2	2	—	1%	1%	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	7	7	—	3%	3%	—
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.34 病院の患者総数は 254 名であり、そのうち入院患者は 204 名、外来患者は 50 名であった。No.34 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 218 名(86%)であった。そのうち、入院患者は 184 名(90%)、外来患者が 34 名(68%)であった。具体的には統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害の患者が多く、患者総数が 167 名(66%)、入院患者が 141 名(69%)、外来患者が 26 名(52%)であった。

No.35 病院（最上地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	1,250	408	842	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	36	10	26	3%	2%	3%
II 新生物	233	136	97	19%	33%	12%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	16	—	16	1%	—	2%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	117	12	105	9%	3%	12%
V 精神及び行動の障害	2	—	2	0%	—	0%
VI 神経系の疾患	45	9	36	4%	2%	4%
VII 眼及び付属器の疾患	53	3	50	4%	1%	6%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	35	1	34	3%	0%	4%
IX 循環器系の疾患	257	83	174	21%	20%	21%
X 呼吸器系の疾患	107	36	71	9%	9%	8%
X I 消化器系の疾患	78	35	43	6%	9%	5%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	23	3	20	2%	1%	2%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	79	16	63	6%	4%	7%
X IV 尿路性器系の疾患	47	8	39	4%	2%	5%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	8	8	—	1%	2%	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	7	2	5	1%	0%	1%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	30	9	21	2%	2%	2%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	66	37	29	5%	9%	3%
X X 保健サービスの利用	11	—	11	1%	—	1%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	208	120	88	17%	29%	10%
II 糖尿病	90	9	81	7%	2%	10%
III 虚血性心疾患	36	18	18	3%	4%	2%
IV 脳血管疾患	106	47	59	8%	12%	7%
V 周産期	15	10	5	1%	2%	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.35 病院の患者総数は 1,250 名であり、そのうち入院患者は 408 名、外来患者は 842 名であった。No.35 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 257 名(21%)であった。そのうち、入院患者は 83 名(20%)、外来患者が 174 名(21%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が 60 名(7%)であった。その他には、脳梗塞の患者も多かった。

次に患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 233 名(19%)であった。そのうち、入院患者は 136 名(33%)、外来患者が 97 名(12%)であった。具体的には胃の悪性新生物の患者が多く、患者総数が 34 名(3%)、入院患者が 13 名(3%)、外来患者が 21 名(2%)であった。その他には、結腸の悪性新生物、気管、気管支及び肺の悪性新生物、その他の悪性新生物、その他の新生物の患者も多かった。

No.36 病院（最上地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	129	29	100	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	5	1	4	4%	3%	4%
II 新生物	6	1	5	5%	3%	5%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	14	3	11	11%	10%	11%
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	2	—	2	2%	—	2%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	45	5	40	35%	17%	40%
X 呼吸器系の疾患	21	11	10	16%	38%	10%
X I 消化器系の疾患	7	2	5	5%	7%	5%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	3	1	2	2%	3%	2%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	12	1	11	9%	3%	11%
X IV 尿路性器系の疾患	1	—	1	1%	—	1%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	2	2	—	2%	7%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8	2	6	6%	7%	6%
X X 保健サービスの利用	3	—	3	2%	—	3%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	4	1	3	3%	3%	3%
II 糖尿病	3	2	1	2%	7%	1%
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	10	3	7	8%	10%	7%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.36 病院の患者総数は 129 名であり、そのうち入院患者は 29 名、外来患者は 100 名であった。No.36 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 45 名(35%)であった。そのうち、入院患者は 5 名(17%)、外来患者が 40 名(40%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が 32 名(32%)であった。

次に患者数が多いのは呼吸器系の疾患であり、患者総数は 21 名(16%)であった。そのうち、入院患者は 11 名(38%)、外来患者が 10 名(10%)であった。具体的には肺炎の患者が多く、患者総数が 8 名(6%)、入院患者が 7 名(24%)、外来患者が 1 名(1%)であった。

三番目に患者数が多いのは内分泌、栄養及び代謝疾患であり、患者総数は 14 名(11%)であった。そのうち、入院患者は 3 名(10%)、外来患者が 11 名(11%)であった。具体的には高脂血症の患者が多く、外来患者が 8 名(8%)であった。

No.37 病院（最上地域）

病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	217	68	149	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	5	2	3	2%	3%	2%
II 新生物	8	4	4	4%	6%	3%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	3	1	2	1%	1%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	11	4	7	5%	6%	5%
V 精神及び行動の障害	5	4	1	2%	6%	1%
VI 神経系の疾患	3	2	1	1%	3%	1%
VII 眼及び付属器の疾患	35	—	35	16%	—	23%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	54	16	38	25%	24%	26%
X 呼吸器系の疾患	17	6	11	8%	9%	7%
X I 消化器系の疾患	12	6	6	6%	9%	4%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	3	1	2	1%	1%	1%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	25	1	24	12%	1%	16%
X IV 尿路性器系の疾患	3	3	—	1%	4%	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	3	3	—	1%	4%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	27	14	13	12%	21%	9%
X X 保健サービスの利用	3	1	2	1%	1%	1%

病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	8	4	4	4%	6%	3%
II 糖尿病	10	4	6	5%	6%	4%
III 虚血性心疾患	6	1	5	3%	1%	3%
IV 脳血管疾患	15	11	4	7%	16%	3%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

解析結果

No.37 病院の患者総数は 217 名であり、そのうち入院患者は 68 名、外来患者は 149 名であった。No.37 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 54 名(25%)であった。そのうち、入院患者は 16 名(24%)、外来患者が 38 名(26%)であった。具体的には本態性(原発性)高血圧(症)の患者が多く、外来患者が 28 名(19%)であった。

次に患者数が多いのは眼及び付属器の疾患であり、外来患者が 35 名(23%)であった。具体的には緑内障の患者が多く、外来患者が 11 名(7%)であった。その他には、白内障の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは損傷、中毒及びその他の外因の影響であり、患者総数は 27 名(12%)であった。そのうち、入院患者は 14 名(21%)、外来患者が 13 名(9%)であった。具体的には大腿骨の骨折の患者が多く、入院患者が 9 名(13%)であった。